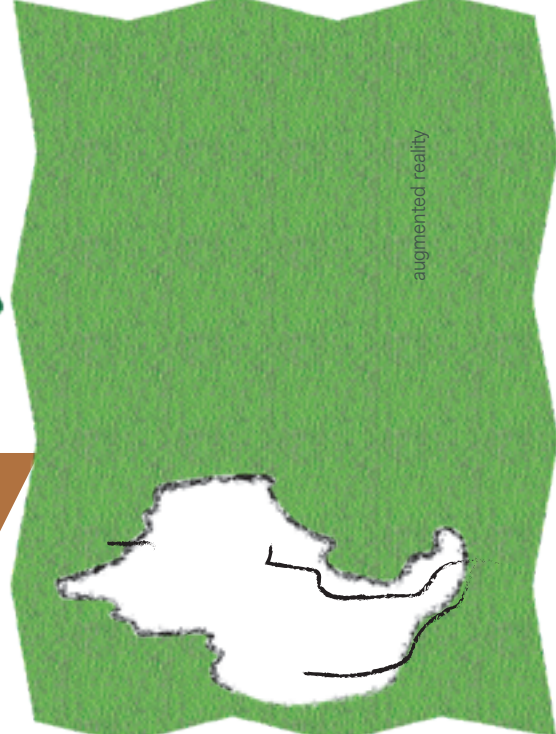
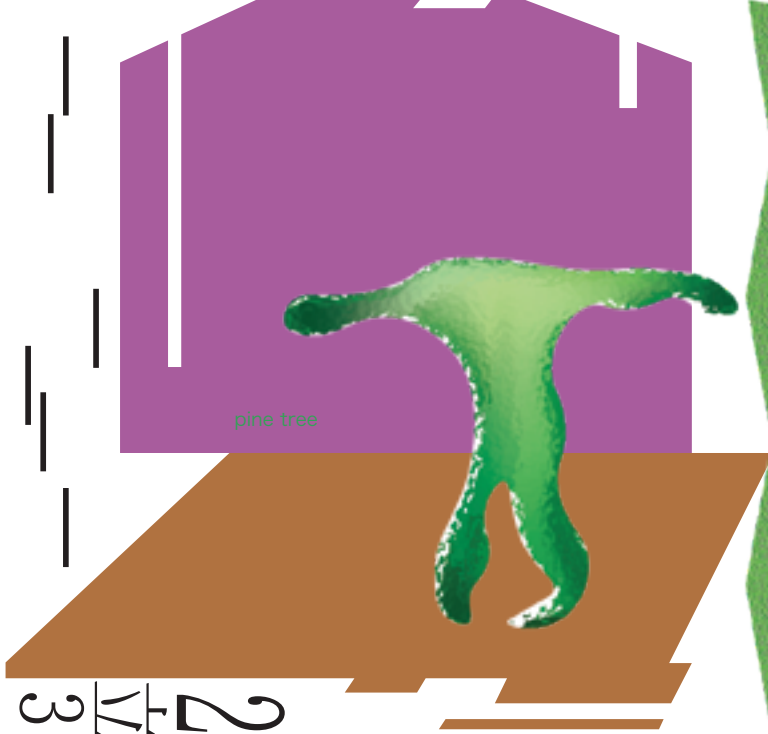


# シンポジウム 舞台における ヴァーチャル

10:00-12:00 パネル I  
かたちのまえ——  
形象・身体・ダンス  
と／におけるヴァーチャル  
「身体原則の此岸」  
楠並良佑 (山形大学)  
「形象的なりズム」  
星野太 (東京大学)  
「言葉という潜在的ダンス  
——大野一雄の蔵書への  
書き込みより」  
宮川麻理子 (立教大学)  
コメンテーター  
宇野邦一 (立教大学名誉教授)

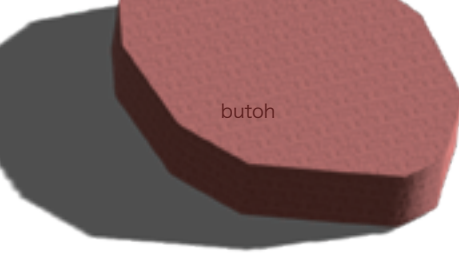
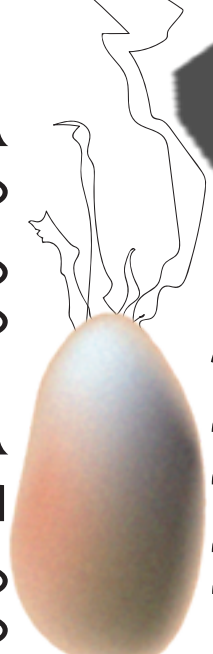
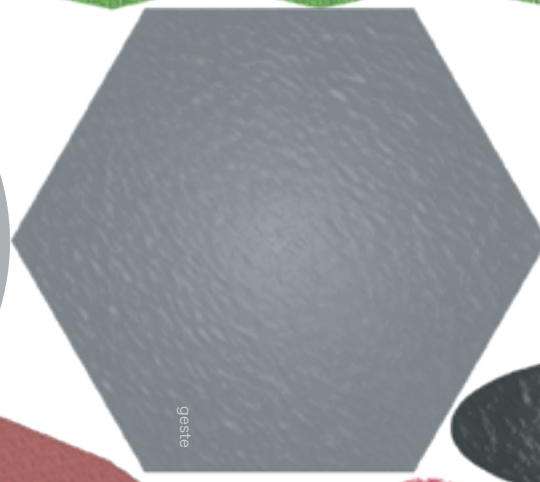
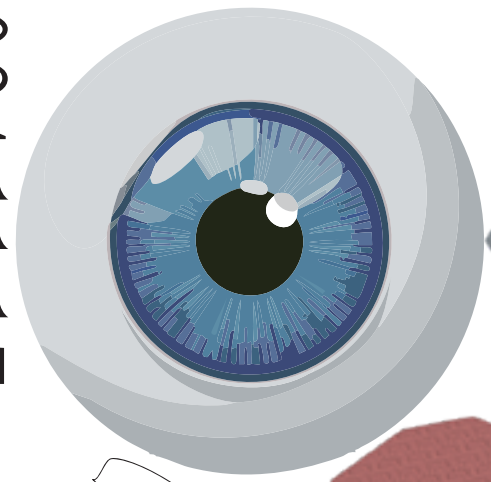


13:10-13:55  
ワークショップ I (短編演劇)  
「母の死を上演する試み」  
作・演出: 松田正隆 (立教大学)  
出演: 生実慧 吉田萌 我妻直弥

14:05-14:50  
ワークショップ II (実験)  
「視覚変換経験を通じた  
ダンスの実験ワークショップ」  
砂連尾理 (立教大学)  
白井述 (立教大学)

15:00-17:00 パネル II  
観ることの層——観客の経験  
におけるヴァーチャル  
「世界を二重化する装置  
としての劇場／演劇／XR」  
相馬千秋 (東京藝術大学)  
「ドゥルーズとラカンの  
「ヴァーチャル」と演劇の経験」  
平田栄一朗 (慶應義塾大学)  
「私たちは能舞台に何を  
想像するのか——物語と  
修辞のあわい」  
横山太郎 (立教大学)  
コメンテーター  
田崎英明 (立教大学)

2024.11.17 [Sun] 10:00-17:00  
立教大学池袋キャンパス太刀川記念館  
3階カンファレンス・ルーム  
心理芸術人文科学研究所  
(riarpah@rikkyo.ac.jp)



かたち  
の根源  
身体と空間  
観る／在る  
仮想現実  
能勢  
潜勢